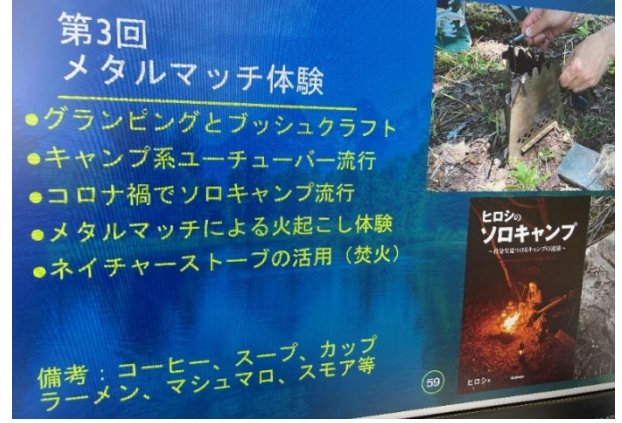


「夏の大人の野遊び入門」

幼児・児童教育学科教授 田中 一徳

第3回目を6月21日に実施しました。



今回は、メタルマッチを使って火を起きました。ロッド（素材はマグネシウム）とストライカーを強く擦ることで火花が発生し、火口（ほくち）に着火させます。

メタルマッチの最大の魅力は、水に強いところです。ライターやマッチは、水に濡れてしまうと使えなくなりますが、金属でできているメタルマッチは、濡れてしまっても拭けば何度でも使えます。天候や気候の影響を受けません。火起こしの手順は下記のとおりです。

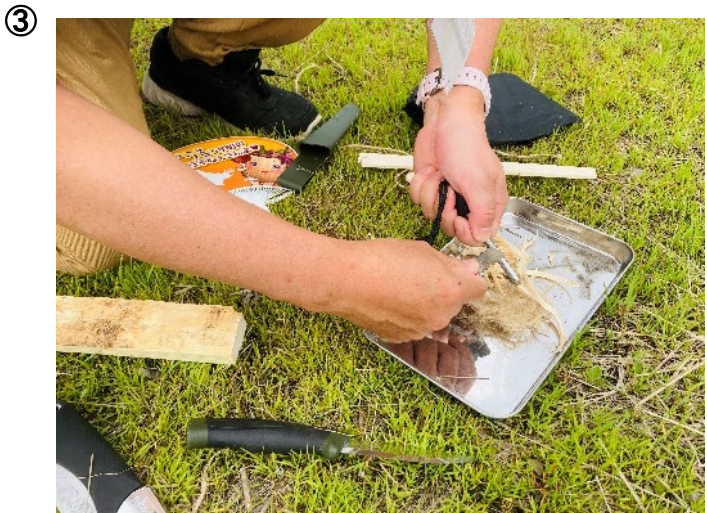
受講生は「家で焼き肉をするとき、メタルマッチで火を起してみようかな。好きな飲み物を片手に、一人焼き肉ができれば、優雅な大人時間を過ごせそう。」と話していました。



火口（ほくち）を準備します。火口（ほくち）とは、メタルマッチなどで発生させた火花を移しとるものです。講座では麻ひもを使用。フワフワにほくしておきます。



燃やす木を準備します。薪を細く割ります。ナイフで薪割りをすることをバトニングといいます。



メタルマッチで火花を起し、麻ひもに着火させます。



薪や細い枝を少しずつ足して火の勢いを強くしていきます。